

1. 香川大学構想会議の進捗状況

資料1

平成24年1月26日

設置趣旨 (H23.10.1発足)

○独自性のある教育や特色ある研究を推進していくためには、地域にある国立大学法人であるという原点に帰り、地域とともに発展することが重要との認識に立ち
 ○これまでの取組につき地元有識者から評価及び今後の進むべき方向についての提言をいただき、今後の改革に活かす。

運営方針

○香川大学の将来のあり方について、外部有識者からの意見を取り入れた検討体制
 ・月1回開催、1年を目途に大学改革の成案を作成
 ・3月に中間整理、将来構想の骨子案作成予定
 ○学内委員によるWGを設置し、構想会議での意見等を踏まえて、将来計画案を構想会議と並行して検討

構成

● 学外委員 ● (6名)

- ・日本銀行高松支店長
- ・四国電力 副社長
- ・香川県 政策部長
- ・香川県弁護士会 弁護士
- ・NHK高松放送局長
- ・百十四銀行 取締役頭取

● 学内委員 ● (17名)

- ・学長
- ・理事
- ・副学長
- ・学部長
- ・研究科長

実施状況

平成23年10月 第1回 教育・研究等の大学の現状データを提示、学内外委員との意見交換

11月 第2回 管理体制の状況等大学の現状データを提示、学内外委員との意見交換

12月 第3回 香川大学のあるべき姿についての方向性について議論

平成24年1月 第4回 香川大学のあるべき姿についての方向性について議論

参考資料1は、教育・研究等分野
 参考資料2は、管理体制の状況
 参考資料3は、分野別の現状と将来像 —教育・学生支援—

今後の予定

平成24年 2月 第5回 各WGの進捗状況報告、議論

3月 第6回 将来構想の骨子決定

4月 第7回 各WGの検討状況報告、議論

5月 第8回 各WGの検討状況報告、議論

6月 第9回 構想会議の提言



構想会議での主な意見

1. 社会との調和の側面

- ・社会的要請を把握しそれに応える大学
- ・地域の自立的成長を担う人材の養成
- ・地域の現状分析に基づく養成する人材像の明確化, 魅力的な人材育成を図る教育コースの設置 など

2. ステークホルダーの側面

- ・職業に対応した専門教育(公務員コース、金融人コースなど)の創設
- ・大学での学修を通じて身に付ける物事に対する考え方, 多面的なもの
の見方, 論理的な考え方などが修得できる教育カリキュラムの策定
など

3. 人財の側面

- ・大型の競争的外部資金獲得の少なさ
- ・独創的・先端的研究の相対的な少なさ など

4. 独自能力の側面

- ・科研費や共同研究・受託研究も獲得の努力をして, 学生と一緒に研究していく体制
- ・企業との共同研究など多様な経験の基づく自信を持って社会に出られる教育システム など



今後取り組むべき戦略課題

「魅力, 共生, 独自能力のある香川大学」になるために以下の戦略課題に取り組んでいく。それに向けて、全学が“塊”となって、スリムで強靱な組織体制を構築するとともに、安定した運営・基盤を確立する。

1. 教育・研究面の戦略課題

- (1) 学士力の育成
 - －初年次教育の充実
 - －柔軟な教育課程の構築
- (2) 組織横断的研究の推進
 - －大型研究資金の獲得

2. 組織面の戦略課題

- (1) 現行研究院制度の見直し(大括り化)
- (2) 学部・大学院の再編・整備
- (3) 効果・効率化の観点から現行組織の見直し・整備

3. 運営面の戦略課題

- (1) 合理化を徹底し, 効率的運営体制の確立
- (2) 大学間の機能別分化・連携の推進



香川大学構想会議の進め方

～香川大学の成長・発展のために～

